

第3回日本地域医療学会 学術集会プログラム(予定)

■日時:令和6年11月30日(土)-12月1日(日)
■会場:富山県富山市「富山国際会議場」(富山県富山市大手町1番2号)

「未来に羽ばたくサステナブルな地域医療
～質の高い温かい医療で地域を包み込む～」

R6.4.24 現在版

■A会場「メインホール」3.4階

■B会場「多目的会議室」2階

| 時間 | 【第1日】— 11月30日(土) — | |
|---|---|--|
| A会場 9:00～9:30 (30min) | ○開会式 主催者挨拶 学会長挨拶 清水 幸裕 (南砺市民病院院長) 理事長挨拶 小野 剛 (日本地域医療学会理事長) 来賓祝辞 富山県知事 富山県厚生部長 富山県医師会長 南砺市長 南砺市医師会長 (ご臨席) | |
| 9:30～9:35 | *舞台転換(5min) | |
| 9:35～12:00 (115min) 発表時間 20min | A会場 ○シンポジウムⅠ ◇テーマ:「地域医療を支える医療人の 育成と役割と(総合診療医と特定看護師・NP)」 ◇座長 小野 剛、村上礼子(自治医大) ◇ 総合診療医: 3学会共同での総合診療医育成構想の行方 演者①(日本プライマリケア連合学会新・ 家庭医療専門医) 演者②(日本病院診療医学会病院総合診 療専門医) 演者③(日本地域医療学会地域総合診療 専門医)大原昌樹 ◇ 看護師: ① 特定看護師 伊藤達也(南砺市民病院) ② NP 酒井博崇(藤田医科大学) | 9:35～10:55 (80min) 発表時間 20min 11:00～12:20 (80min) |
| | | B会場 ○シンポジウムⅡ ◇ 学術的な視点から地域医療を捉える 学会誌創刊への道標 座長: 四方哲(京都府立大学) 和足孝之(京都大学) 演者①青木拓也(東京慈恵会医科大学) 教室:地域医療のエビデンスと臨床研究 の必要性) 演者②和足孝之:研究から地域を創生す る(京都大学) 演者③荒幡昌久(南砺市民病院:市中病 院における臨床研究、利点・難点など) 演者④武島健人(富山大学:大学病院に おける臨床研究、利点・難点など) ○教育セッション:臨床研究の実践方法 学生・研修医・参加型ワークショップ (事前登録) ファシリテーター:青木拓、和足孝之、 荒幡昌久、武島健人、アド バイザー:四方哲 |
| 12:00～12:50 | 昼食 | 12:20～13:00 昼食 |
| 13:00～13:50 (50min) | 教育講演Ⅰ 座長:山本昌幸(久美愛厚生病院) 「地域医療と向き合って(仮)」 藤森勝也(厚生連あがの市民病院) | 13:00～15:30 (150min) ○総合診療医 教育セッション ◇テーマ「身体所見から病態を極める」 松本謙太郎(国立病院機構大阪医療センター) 平島修(徳洲会奄美ブロック 総合診療研修セ ンター)和足孝之(京都大学 総合臨床教育・ 研修センター)大浦誠(南砺市民病院)伊藤恭 平(南砺市民病院)石井太夫(浦添総合病院) |
| 14:00～15:30 (90min) | ○シンポジウムⅢ ◇テーマ:「医療とアート」 ◇講師:村岡ケンイチ 南砺市民病院のアート作成プロジェクト | |
| 15:30～17:00 (90min) 発表時間 15min | ○シンポジウムⅣ ◇テーマ:「質の高い地域医療を目指して 地域にこそ必要な病診連携,DX,ICT, AI」 ◇座長:中村伸一、小林大介(富山大学) ① 青木拓也 地域医療の質とは ② 診療所からみた病診連携(中村伸一) ③ 地域病院のDX HITO 病院 ④ 地域医療のICT(小川太志:南砺市民 病院)OPTIM社との共同プロジェクト ⑤ 地域医療における医療 AI 活用の未来 (上村博輝:新潟大学) | 15:30～17:00 (90min) 南砺マルモカンファレンス ◇司会:松本謙太郎、大浦誠 |
| 17:00～17:45 | 一般演題(ポスター) 優秀演題決定 交流会で発表 | |
| 18:00～20:00 | 交流会(名刺交換会) ANA クラウンプラザホテル富山 3F 大宴会場 鳳 | |

■A会場「メインホール」3.4階

■B会場「多目的会議室」2階

| 時間 | | 【第2日】— 12月1日(日) — | |
|---|---|---|--|
| 9:00～9:30 (30min) | ○学会長講演 「地域医療を守るための病院づくり—南砺市民病院の挑戦—(仮) 学会長：清水幸裕(南砺市民病院) | | |
| 9:40～10:40 (60min) | ○特別講演 ◇テーマ：「能登半島地震における地域病院の活動について」 座長：野村英樹(金沢大学) ① 災害時の医療救援の実際について(30分) 病院からの報告 品川誠(市立輪島病院) 座長：学会役員 ② 災害時の精神科医療(30分) 北村立(石川県立こころの病院) | 9:35～11:05 (90 min) | ○高校生の地域医療体験学習 ◇座長：江角悠太、荒幡昌久(南砺市民病院)、白石吉彦(島根大学) 土井毅(Touch the Future代表) ◇アシスタント：学生代表 |
| 10:40～10:50 | 休憩(10分) | 11:05～11:15 | 休憩(10mn) |
| 10:50～11:35 (45min) | ○教育講演 II 医療現場の問題をどう解決する—臨床倫理的アプローチ— 座長：清水幸裕(南砺市民病院) ◇講師：稲葉一人(日本臨床倫理学会副理事長) | 11:15～12:45 (90min) | ○学生・研修医のためのセッション 座長：江角悠太、小川太志(南砺市民病院)、河合皓太(かみいち総合病院) 研修医代表、 ◇アシスタント：学生代表 |
| 11:40～12:25 (45min) | III 心を動かして医療を動かす—行動経済学— ◇座長：栗山政人(南砺市民病院) ◇講師：竹林正樹(青森大学) | | |
| 12:25～13:30 | 昼食 | 12:45～13:30 | 昼食 |
| 13:30～15:00 (90min) 発表時間 20min | ○シンポジウムV ◇テーマ「地域医療とウェルビーイング—患者の幸福を実現する」 ◇座長：秋山美紀(慶応大学環境情報学部 教授) 清水幸裕(南砺市民病院) ① 県全体でウェルビーイングの実現を目指す 牧山貴英(富山県ウェルビーイング推進課) ② 主観的な幸福とは何か 前野マドカ(慶応大学大学院) ③ 幸福を目指すケアとは 安井絢子(関西大学) ④ 宗教の観点からの幸福 僧侶で医師 岡山容子(おかやま在宅クリニック) | 13:30～15:00 (90min) 発表時間 15min | ○シンポジウムVI ◇テーマ「地域医療の真髄を学ぶ」 総合診療医の役割—臓器専門医との連携 ◇座長： 仲井培雄(芳珠記念病院、学会副理事長) 佐藤幸浩(かみいち総合病院) ① 地域における救急医療 ドクターカーによる地域救急 熊野義久(南砺市民病院) ② 地域における急性期医療 大森啓子(杉田玄白記念 公立小浜病院) ③ 地域における回復期医療(地域包括ケア病棟) 野瀬範久(野瀬病院) ④ 地域における慢性期医療 矢野 諭(学会副理事長) ⑤ 在宅医療 紅谷浩之(オレンジホームクリニック) |
| 15:00～15:30 (30min) | ○閉会式 学会長 閉会挨拶 2025年度第4回学術集会開催地発表 第4回学術集会 学会長挨拶 副理事長 総評 | | |